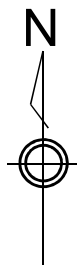


再評価対象事業

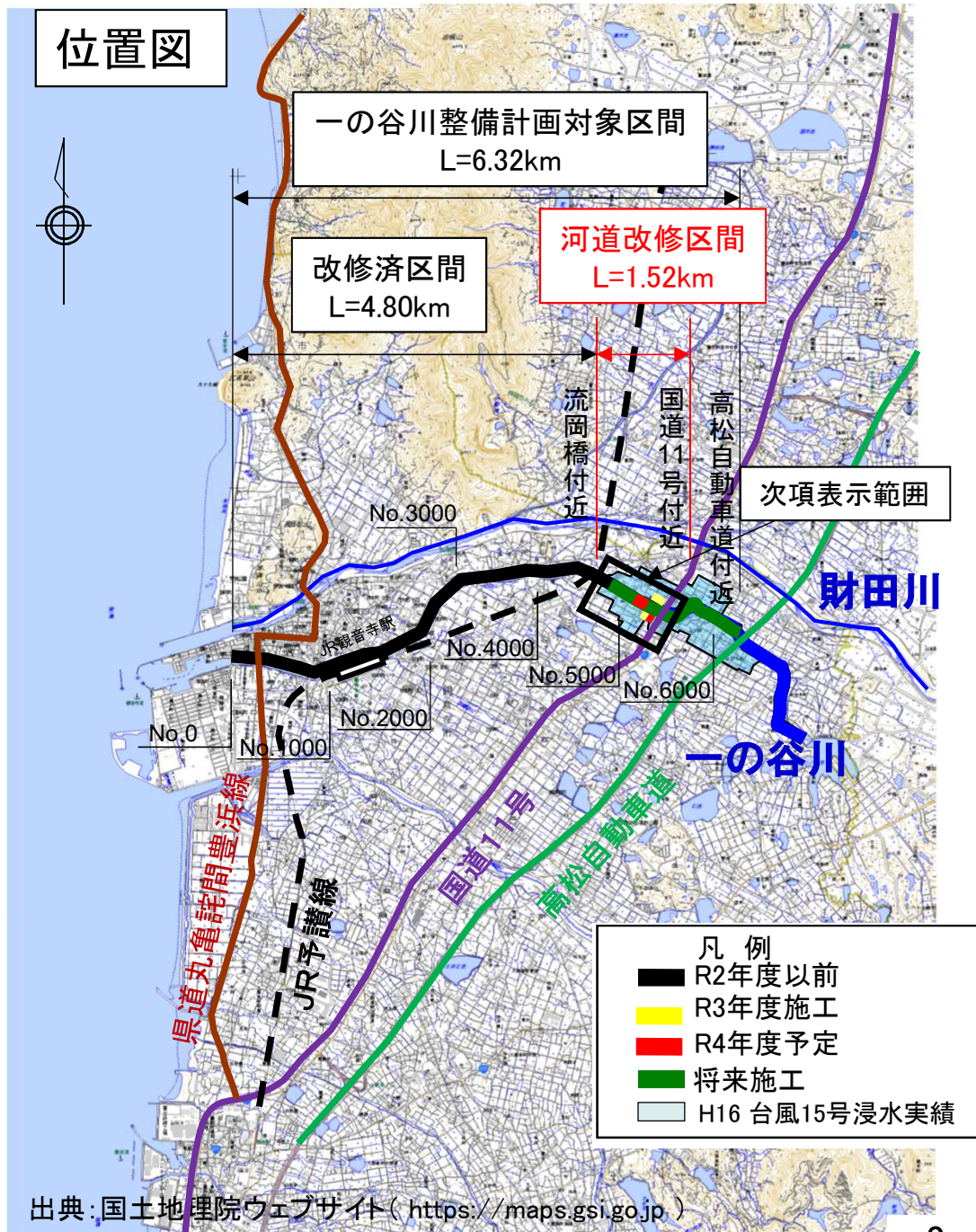
大規模特定河川事業 一の谷川

香川県土木部河川砂防課

1. 再評価対象事業 位置図



2. 再評価対象事業 計画図



河川改修の経緯

- S31 (1956) : 河川改修に着手 (局部改良事業)
- S56 (1981) : 河口～流岡橋 (4.8km) 整備完了
- H03 (1991) : 流岡橋～上流部 改修事業開始
- H09 (1997) : 住民反対を受け休止状態
- H12 (2000) : 事業再評価委員会
事業の中止を答申
- H16 (2004) : 平成16年災害
- H24 (2012) : 地元住民の同意を得て事業再開
- H25 (2013) : 事業再評価委員会
事業再開が決定
- H29 (2017) : 河川整備基本方針策定
- H29 (2017) : 河川整備計画策定

河川整備計画の概要

対象期間

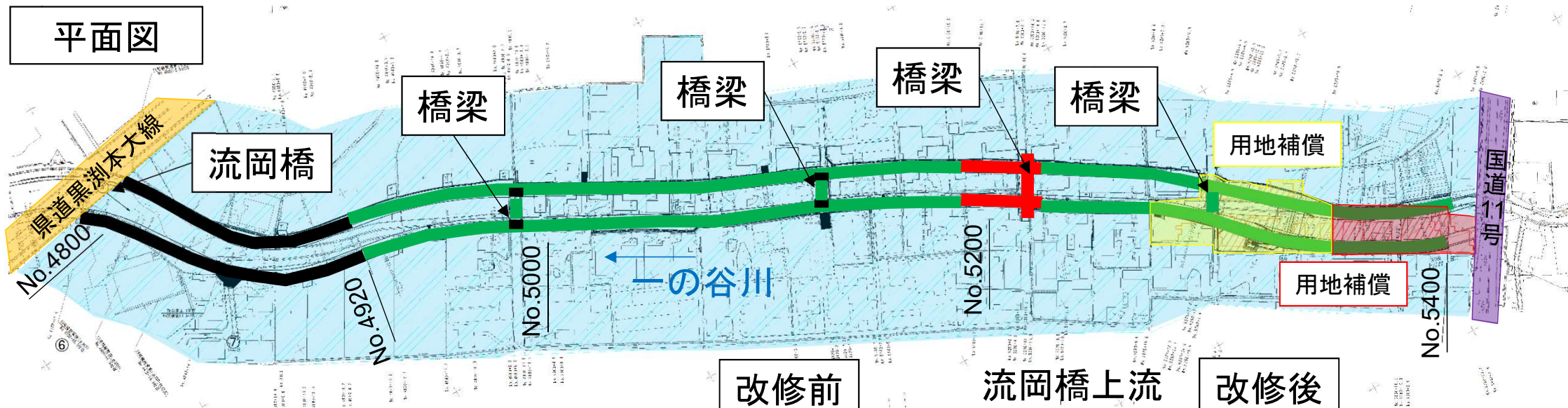
- 概ね30年とする

対策の目標

- 流域の人口、資産状況、氾濫面積等の治水上の重要度や過去の水害実績を考慮し、30年に1回程度の降雨で発生する洪水を安全に流せること

3. 再評価対象事業 説明図

平面図



- 凡例
- R2年度以前
 - R3年度施工
 - R4年度施工
 - 将来計画区間
 - H16 台風15号浸水箇所

改修前



流岡橋上流

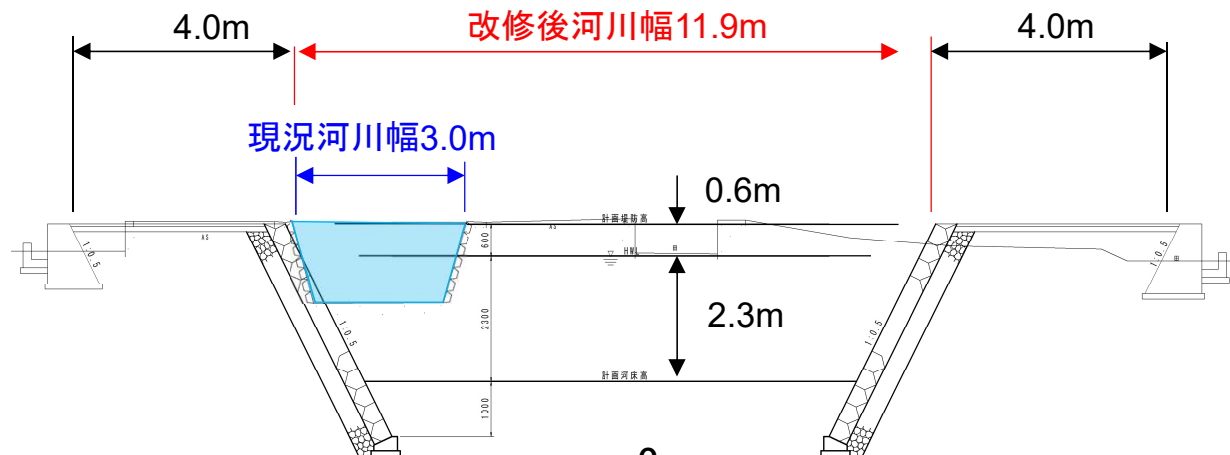


改修後



横断面図

No.4940付近



4. 被害の発生状況

過去の浸水被害

出典: 水害統計

発生年月日	発生要因	観測局	最大 時間雨量 (mm/h)	最大24時間雨 量(mm/h)	浸水家屋(棟)		
					床下	床上	合計
平成2年9月17日～19日	台風29号	観音寺	31	297	92	—	92
平成16年8月17日～18日	台風15号	観音寺	34	193	145	4	149
平成16年10月19日～20日	台風23号	観音寺	25	159	28	—	28
平成23年5月29日	台風2号	観音寺	14	190	73	—	73



再評価の視点

①事業の必要性等に関する視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 未改修区間の現況流下能力は、計画流量（6.6 m³/s）に対し、現況は約15%となっており、河川改修が必要である。
- 平成16年台風15号をはじめ、これまでに、未改修区間において浸水被害が発生していることから、早期の対応が必要である。
- 水害防止の観点から、残る未改修区間についても、地域住民及び地元市は、早期の改修を望んでいる。

2) 事業の進捗状況

- 工事：河道改修区間1、520mのうち120mが完了し、事業費ベースで13%が完了している。
- 用地：事業費ベースで26%が完了している。

②事業進捗の見込みに関する視点

- 未改修区間において、用地買収及び工事を実施中であり、今後、円滑に進捗できる見込みである。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

- 現河川を活用して拡幅することにより用地費のコスト縮減を図る。

対応方針(案)

以上のことから、**事業を継続する。**